

南小だより

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

子どもたちの生きる力と夢を育む南小

やさしい子

～「ありがとう」の言葉があふれる学校～

たくましい子

平成25年7月19日

第5号

川越市立高階南小学校

危険回避能力を身に付ける。～安全な夏休みのために！～

川越市内で小中学生の交通事故が続いています。先日、本校でも放課後自転車に乗っていた児童が事故に遭ってしまいました。坂道を降りながら道路を横断する際のできごとでした。幸い現在本人は元気に登校しておりますが、本当に危ないところでした。



今回、改めて感じたのは、どうすれば子どもたちに、危険回避能力を身に付けさせることができるかということです。徒歩であれ自転車であれ、事故を最終的に避けることができるのは自分自身以外にはいません。「目の前にある危険を察知して、事故に巻き込まれないようにする。」という意識を強く持つことが大切です。

1年生国語学習『おおきななぶ』
新聞によると、神戸地裁で、自転車に乗っていた小学校5年生の男の子が女性とぶつかり9,500万円の賠償金支払い命令がでたということです。交通事故は全ての人を不幸にします。子どもたちが、被害者にも、加害者にもならないようにするためにも、危険回避能力は絶対に必要な力です。シンプルではありますが、合い言葉である「止まる・確かめる」を実行し、交通事故からすべての子どもたちを守りたいものです。

不審者対策も同じです。危ない場所に近寄らない、不審な人物に遭遇したらとにかく逃げる、迷わず110番通報をする、といったことを学校でも徹底して指導しています。

思わぬ交通事故や、不審者に遭遇することは、いつでもどこでも誰にでも起こりうることです。夏休みを前に、「危険回避」のための話合いをご家庭でもぜひお願いいたします。

『読書』の魅力を知る。

夏休み、普段できない経験をする絶好のチャンスです。様々な体験は子どもの発想を豊かにし、心を育みます。でも、忙しい毎日が続き、遠出もままなりません。そこでお勧めなのが読書です。



読書というと「座学」ととらえがちですが、本の中には、体験に勝るとも劣らない夢とロマンが広がります。手軽に会ったこともない著者の人生やものの見方考え方に触れることもできます。読書は知識を増やし、深い洞察力を与えてくれます。

6年生『高南人間国宝』電話連絡

夏休みは、長い長い自主勉強の時間です。学校から与えられた課題は、計画的に済ませ、普段できない自分の課題に挑戦してみてください。そんな挑戦の一つに読書を加えてみてはどうでしょうか。様々な体験や外で元気に遊ぶことと同じくらい、魅力的なのが読書です。何しろ、居ながらにして過去や未来、世界中のどこへでも出かけることができるのですから。

今年も暑い夏が続きます。冷房を上手に使い、自分だけの贅沢な読書の時間を味わうことの快適さを子どもたちに伝えてください。背中を丸めてTVやPCなどのゲームに熱中しても、人間的な幅を広げてくれることを期待するのは難しいようです。ひと夏の充実した読書は、お子さんの感性を磨き、精神的にも一回り大きく成長させてくれるはずです。



保健委員会の歯みがき指導



PTAトイレ掃除ボランティア



音楽朝会トランペット演奏



5校区ドッジボール大会